龍 蔵 寺

山号　　太平山　　宗派　　天台宗
ご本尊　　千手千眼観世音菩薩　　通称　　愛宕さん
所在地　　〒669-2462　篠山市真南条上 1474
℡　079-595-0314　　Fax　079-595-1037
E-mail　ryuzouji@abelia.ocn.ne.jp

開山　：　伝えられるところでは大化元年（西暦 645）インドからの渡来僧　法道仙人によって開山。古くからの山岳信仰の行場として人々に親しまれ、山に入り心や体をみそいで山の精気をもらい帰っていく、信仰の場として存在していた。後になって天台宗の教義に帰依して、次第にお堂や行場が整備されていき、やがて修行を中心とした寺に発展していった。

伝説　：　その 1

法道仙人が愛宕山の中にある忍びの滝で修行していた時に、大きな龍（倶利伽羅大龍王）が現れ、龍の珠を見せて「これは仏法を広く伝える宝の珠である。多くの民を平安に過ごさせる妙なる力があるものなり。この山に龍は姿を蔵して（かくして）末永く鎮護国家を祈念し続ける。」と言い姿を消した。

その 2

太古の昔、篠山盆地は大きな湖で龍が住む所であった。諏訪明神（建御名方命）が田畑を開こうとして、今の丹波市下滝辺りから水を流していった。湖に住んでいた龍は空に舞い上がり南の高い山（愛宕山）に身を隠した。龍は姿を十一面観音に変えて人々の平安を護り続けた。そこが龍蔵寺となる。

縁起　：　山号の太平山は天智天皇の勅命で天下泰平を祈祷した功績で授けられたと記録にある。

＊文治 5 年（1189）比叡山の恵心院一乗上人が兵火で燃えたお堂 36 宇を再建される。現在、山の中腹にある穴太積み（あのうづみ）の石垣は根本薬師堂の跡である。

＊文亀 3 年（1503）1 月 24 日愛宕山天狗岩に勝軍愛宕大権現が現れる。火災の難から広く民衆を護るから、ここにお堂を建てて愛宕尊を祀るよう命じた。白馬に乗られ鎧兜をまとわれた地蔵尊である。お堂への参道には 223 段の石段があり、厄除けの意味も石段の数に含められている。

毎年 2 月 24 日、8 月 24 日にはこの地蔵尊の大祭が行われている。

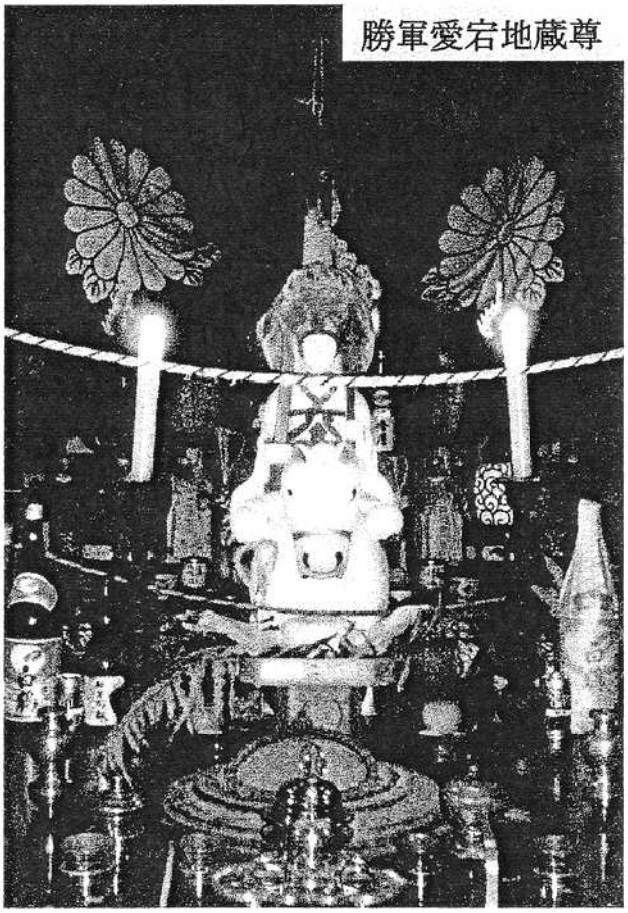
＊慶長　　（1600 年前後）僧　頼慶が三世三千仏画と蔵王尊を祀る。
＊元和 5 年（1619）徳川秀忠将軍により愛宕山全山を知行地として寄進される。

篠山城を造られた松平、青山城主が度々祈願に赴かれた。松平教房により十六善神仏画、長刀や槍も寄進された。
比叡山横川鶏足院との交流文書も残されている。
当初より修行僧の養成をしていた。
＊昭和 20 年以降に植林を熱心に展開し寺の再建を目指した。慈本泰山和尚はユースホステルを通じ人材の養成や、子育て地蔵尊を祀り命の尊厳を人々に呼びかけた。
＊昭和 40 年頃より京都大学の地震観測所を設置して観測の協力をしている。
＊昭和 60 年頃より水仙福祉会の活動に賛同し、山内の建物『山の家』・『風の家』で発達障害の人たちの活動を支援している。
＊平成 10 年頃より食の安全や自然環境の保護をテーマに、多くの人々と考える機会を持ち、活動に取り組んでいる。

祀られている仏像　　千手千眼観音、不動明王、毘沙門天、薬師如来、弁財天、大黒天
歓喜天、蔵王権現、勝軍愛宕地蔵尊、子育て地蔵尊

千手千眼観音

山内に咲く
深山いちげ


勝軍愛宕地蔵尊